

●6年制学科のカリキュラムの特色 回答なし

●病院や薬局の実務実習 特色や取り組み
実務実習先は病院・薬局実務実習近畿地区調整機構担当者会議で決定されます。基本的に4年次終了時に配属された講座の教員が、実務実習中の3回訪問を含めて学生を支援し、実務実習委員会が実務実習全般の問題に対応しています。各教員は実務実習中の学生と連絡を密に取って、メンタルケアを含めて、特に技能的な問題については臨床系教員が支援する体制になっています。

●病院実習先・薬局実習先
独立行政法人国立病院機構 大阪南医療センター 他 71カ所
キタ薬局他 調整機構により実習先を確保 115カ所

●アドバンスト(臨床)実習
在学中にNR・サプリメントアドバイザー、健康食品管理士の資格が取れるカリキュラムがあります。

2022年度より、早期から広い視野で未来を見つめるキャリア教育に取り組んでいる。キャリア教育は高校生も参加できる公開講義Be THE PHARMACIST未来の薬剤師たちへに始まり、入学後1年生には「〇〇×薬剤師」で様々な分野で第一線で活躍される薬剤師の先生にご講義いただき、1～3年希望者対象の特別集中講義では「道場ミライ薬剤師」では薬学周辺の専門家による講義も実施しています

●多職種連携教育の具体的な内容
2年次の看護学、4年次のチーム医療・地域医療薬学があります。1～3年希望者対象の特別集中講義では「道場ミライ薬剤師」では薬剤師以外に管理栄養士、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーによる講義を取り入れています。

●多職種連携教育を行う医療施設名
回答なし

●薬剤師国家試験への取り組み
国家試験対策は、低学年では振り返り演習なども取り入れて基礎科目修得を徹底させ、4年次ではCBT対策、5、6年次では国家試験対策に力を入れ、6年間を通じて国家試験に合格できる力を備えられるよう、教員による演習授業に加え、効果的に薬剤師養成業者による補講を多く取り入れています。また、学内のミニ演習や模擬試験に加え、業者模擬試験を数多く無料で実施し、学生の全国的なレベルを個々に周知させることで学生のモチベーシ

ョン維持に努めています。それ以外でも、コンピュータやスマートフォンを利用した学習支援システムを導入し、学生は学内や自宅、通学途中でもそのシステムを用いた自主学習ができ、また教員もこのシステムを活用した演習を実施しています。さらに、5、6年次では配属講座での国家試験対策を行うことで、学習面だけでなく、相互のモチベーション維持やメンタルなサポートも行っています。また、平成27年度からは「薬学教育支援・開発センター」を設立し、リメディアル教育の統括、授業を補完するセンター講座、5、6年生スタッフによるマンツーマンSAセミナー、さらには学習相談などを通じて様々な方面からのサポートを行っています。

●卒業研究について
全ての学生は、志望を基に5～6年次の間各講座に配属され、卒業実習教育として卒業研究に従事します。大学院への進学や企業への就職を希望する学生はもとより、病院や薬局などの医療現場で薬剤師として活躍することを希望する学生にも、先端の研究に従事したり、学術情報の収集やまとめ方、研究データの分析や管理の仕方を学んだり、必要な知識や技能を身につける機会が得られています。そして、研究成果は論文にまとめるとともに、パワーポイントやポスターを使って卒業研究発表会にて発表します。また、学生による学会発表に対して独自の補助金制度を設けています。

●入試の変更点
○薬学部設置のない県対象の特別推薦入試(特定地域対象)を導入(入学金半額免除)
対象地域:秋田県、山形県、茨城県、長野県、山梨県、福井県、奈良県、鳥取県、島根県、高知県、大分県、佐賀県、鹿児島県、沖縄県
○多面的、総合的評価を行う入試
一般入試(中期)で「志望理由書(Web入力)」を評価
○一般入試(中期)で「英語資格検定試験の利用(みなし得点制度)」を導入
○入学検定料免除制度
1.複数回受験入学検定料免除制度
2.同時出願検定料免除制度
○入学金半額免除制度(併願)
対象となる入試区分:特別推薦入試(専門学科)・公募制推薦入試・一般入試
・大学共通テスト利用入試
薬学部:免除額20万円
○薬学部特待生制度(授業料全額6名・半額20名 免除)
対象となる入試区分:
(1)公募推薦入試(前期(A・B日程))

(2)一般入試(前期)*スタンダード方式で判定
免除額(最長6年間)

※詳しくは入試要項及び大学ホームページをご覧ください。

●入試に合格するためのアドバイス
【英語】高校で学習する文法、構文、語彙をしっかり和復讐し、定着を図ってください。日頃からまとまった英文を速読して、内容を把握することを心がけてください。

【数学】数学は一般入試(前期・中期)のみで実施しています。問題の難易度は大学入学共通テスト程度ですので、教科書や高校の授業の内容をしっかり習得し、60分という限られた時間でミスなく迅速に解答できるよう、問題を数多くこなすことが重要です。

【化学】教科書の内容をしっかりと理解し覚えておきましょう。また、「医薬品」「生命科学」など薬学領域に関連する新聞記事やニュースもしっかりマークしておきましょう。理論性や計算力を問う計算問題もかなりの頻度で出題されますので、計算ミスのないように過去問題集を繰り返しこなし、力をつけるようにしましょう。

●過去問を公開しておられますか
https://www.osaka-oh-tani.ac.jp/~club-oh/exam/past_exam/

●面接や小論文について教えてください
回答なし

●大学独自の奨学金制度
<https://www.osaka-oh-tani.ac.jp/~club-oh/exam/univ/admission.html#scholarship>

●地域のアパート・マンションのモデル家賃
回答なし

●オープンキャンパスの日程
第1回オープンキャンパス 5月27日
第2回オープンキャンパス 7月15日
第3回オープンキャンパス 7月16日
[大阪大谷大学の学び紹介]学部学科紹介・模擬授業、個別相談ブース
[入試のしくみと対策法を解説]入試説明会、総合型選抜入試説明会
[キャンパスや大学生活を実感]キャンパスツアー、学生独自企画、フリートーク
第4回オープンキャンパス 8月26日
第5回オープンキャンパス 8月27日
[大阪大谷大学の学び紹介]学部学科紹介・模